

# 植野さんを悼む

狭山市美術家協会 水村 昭

文団連発足当初から会長推薦理事をつとめられ、狭山市美術家協会代表であった植野瑛子（本名悦子）さんが、2月6日、癌で亡くなられた。享年69歳。惜しい人だった。

植野さんは、小学校6年で「県展」に、高校1年で「独立展」に入選され、当時和歌山市で天才少女と言われた程の早熟さ。芸大油絵科で小磯良平教室に学んで才能を磨き、その後「独立展」に発表し続けられた。その力量の一端を、市役所食堂の前にある人物を組み合わせた『時間の流れ』に観ることができる。

彼女は油彩だけでは飽き足らず、1970年頃から皮革や日本の裂（布のきれはし）、紙をカラージュした作品を精力的に制作して画域を広げる努力を重ねられた。良い作例として中央公民館ロビーに飾られている『Aの家族』がある。

晩年、闘病の日々、残された力を振り絞ってものした『ばらばらになった私の骨たち』（平成16年11月の狭山市美術家協会展出品）は、澄みきった心境が余すところなく表出されてなんとも美しい。病に立ち向かわれる彼女の姿が彷彿し、鬼気迫るものがあった。この作品は、植野さんの掉尾を飾る傑作であると私は思っている。

植野さんの活躍は、創作活動だけに止まらず、地域のグループや子どもたちの絵画指導、公民館、図書館の審議委員として、また女性フォーラム等でも市民活動の中心的存在でした。とりわけ「グループ・いなりやま」を結成、ハイパークの米軍跡地に残されたハウスを利用して、市民の文化芸術活動の拠点にできないか、と市に働きかける活動を労を惜しまず推し進めておられた。そして生み出された「いなりやまを紡ぐ」という冊子を、各界の人々の協力を得て作り上げられたことを、彼女の大きな足跡として称えたい。



『時間の流れ』 狭山市役所食堂ロビー

画家・植野瑛子さんは、狭山の市民文化発展を常に心し、そして行動し、狭山を愛した人であった。

ご冥福をお祈りします。

## 狭山市文化団体連合会 加盟団体（3月末現在 39団体・順不同）

狭山市民劇団ステップ	狭山篠笛同好会	ハワイアンパラダイス
朗読研究狭山会	J.S. Bach研究会	狭山おやこ劇場
狭山市民謡協会	狭山ビッグバンドピラミッド	狭山市華道連盟
狭山市吟詠連盟	端唄 根岸禮の会	狭山市写真作家協会
狭山市俳句連盟	狭山市合唱協会	水謡会
日本詩吟学院岳風会・雪吟会	狭山少年少女合唱団	本田技研（株）むさしの会写真部
狭山市民俗芸能祭囃子連合会	ギターサークル弦	芳竹会（書道翠軒流）
狭山市美術家協会	うるおいきもの文化普及会	童句振興協会
狭山茶つみ太鼓	狭山市民講師協議会	狭山市民美術協会
水栄太鼓	狂言入間川を観る会	さやま映画クラブ
狭山市三曲連盟	狭山コミュニティ放送研究会	狭山放送劇団ヴォーチェの会
狭山市新舞踊連盟	狭山市茶道連盟	サヤマシティカルチャーセンター
狭山市日本舞踊連盟	クロスアートの会	狭山香道倶楽部